

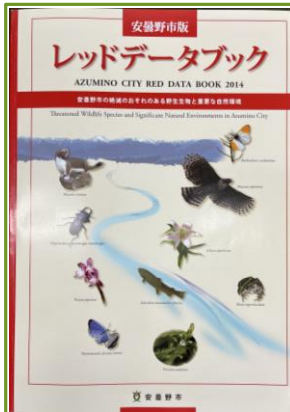
# 軽井沢町版 レッドデータブック策定 全体方針

---

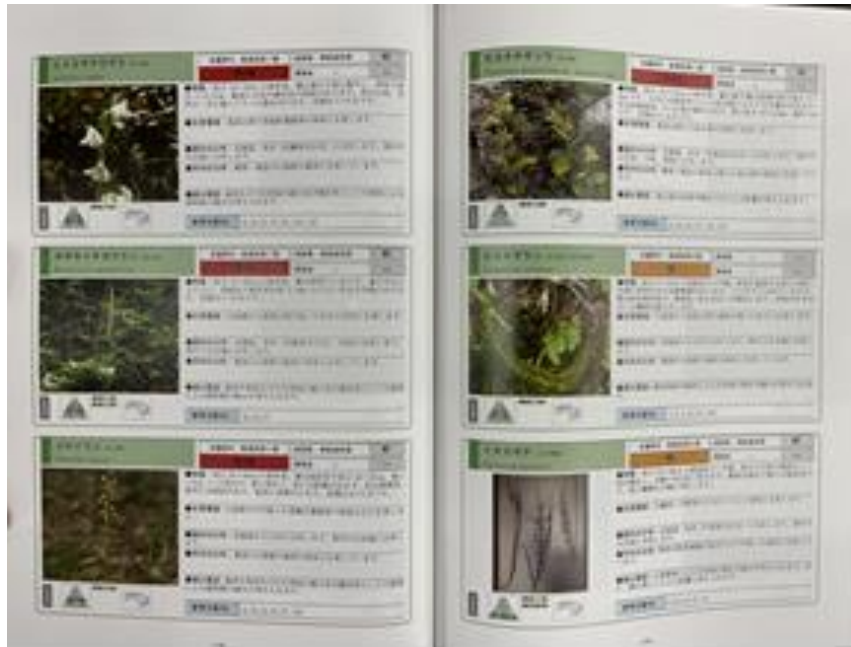
軽井沢町

# ◆レッドデータブック(RDB)とは・・・

「**レッドデータブック**」とは、**レッドリスト**(絶滅のおそれがある野生生物種のリスト)に**掲載**されている**種の生息状況**や**絶滅危惧の原因**などをまとめた**解説本**



安曇野市RDB



千曲市RDB



# ◆国等のRDB策定の経緯

## 状況

現在の地球上における生物は、全種数が1,000万種とも3,000万種ともいわれているが、現在は年間に2～3万種もの生物が絶滅しているとの推定もあり、恐竜が絶滅した白亜紀末(約6,500万年前)をしのぐ速度で**大量絶滅が起きている**といわれている。

## 原因

これは、森林伐採や大気・水質汚染をはじめ、さまざまな**人間活動による地球環境の著しい悪化**などが大きな**原因**

## 国等の対策

このような状況を警告するため、**国際自然保護連合(IUCN)**は、国際的に絶滅のおそれのある野生生物の種をリストアップし、それらの生息状況などを解説した**レッドデータブック**を発行。その後、**各国で国内版のレッドデータブック**が作成されるようになり、さらに、**地方版**(都道府県版及び市町村版)の**レッドデータブック**が各地で刊行され、地域でも**絶滅のおそれがある生物**に関心が寄せられている。

# ◆なぜ今、軽井沢町にRDBが必要か

## 環境基本計画(令和5年度策定)

◆目的  
軽井沢町の自然環境を守り、持続可能な地域社会を築いていくために策定

◆施策・事業(一部)  
・子どもたちへの環境教育の取組を実施  
・生物多様性の保全と向上に向けた取組を実施

環境基本計画の  
目的を達成する

施策・事業を実施する  
ためにRDBが必要

RDBを活用し、施策・事業を行う

# ◆RDB策定の進め方

---

1. RDB策定後の活用イメージを見据えることが重要
2. 動植物に精通し、RDB策定のノウハウ・実績を有する事業者にRDB策定業務を委託
3. 有識者を中心とした検討部会を設置
4. 検討部会は、RDB記載内容の検討（レッドリストの選定）や現地調査、情報収集など幅広く活動
5. 住民から情報収集
6. 住民の意識醸成を図るため、住民参加型の現地調査や、ワークショップ、子どもたちに向けた観察会、有識者による講演会、自然観察指導員の育成などを実施

# ◆RDBの具体的な活用方法

---

## ◎環境教育のための教材

環境問題に対する正しい理解や知識が重要であることから、RDBを子どもたちへの環境教育に活用する

## ◎保全活動のための資料

住民、企業、団体、行政など軽井沢町にかかわる全ての人たちが、RDBから正しい理解と知識を得て、絶滅のおそれがある野生生物の保全に努める

### 【具体例】

軽井沢町内における開発等の行為に際し、住民・事業者・行政などがRDBを活用し、絶滅のおそれがある野生生物の保全に努める

# ◆RDB策定までのスケジュール

項目		年度	令和6年度 (2024年度)				令和7年度 (2025年度)				令和8年度 (2026年度)				令和9年度 (2027年度)			
検討部会	部会構成検討		↔															
	開催・活動		←															
策定委託	事業者選定 (プロポ)		↔															
	業務期間		←															
その他	・情報収集 ・現地調査 ・WS ・観察会など		←															